データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」取扱説明書

転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」を利用して「テプラ」PRO本体のデータをパソコンでやりとりする方法について説明しています。使用の際に参考にしてください。

Win・SDM9

転送ソフトの特長

転送ソフト「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1は、「テプラ」PRO本体で作成したファイルデータやあて名データ、名前データ、外字データをパソコンに転送し、1つのファイルとして保存することができます。

■ 「テプラ」PRO本体のデータをパソコンで保存できます

- **安心のデータバックアップとして**
  「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに保存しておけば、「テプラ」PRO本体のデータが消失した場合も安心です。
- **共用時のデータ入れ換え**
  「テプラ」PRO本体を共用しているときなど、個人ごとのデータをパソコンに保存し、使うときだけ「テプラ」PRO本体に戻せば、データを他の人に見られる心配がありません。
- **他の「テプラ」PRO本体での共用**
  パソコンに保存してあるデータを他の「テプラ」PRO本体に転送すれば、同じデータを共用することができます。また、Eメールなどで送信して、別の部署でデータを共用することも可能です。

■ 「テプラ」PRO本体で作成したあて名、名前データはパソコンでも利用できます

「テプラ」PRO本体で作成したあて名、名前データを「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などに変換することができます。また、「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などで作成したあて名や名前用のファイルを「テプラ」PRO本体で利用できるように変換することもできます。

■ 外字がパソコンで編集できます

「テプラ」PRO本体で作成した外字をパソコン上で編集するだけでなく、新たに外字を作成して「テプラ」PRO本体に転送することができます。描画方法はマウスを使うだけなので、とても簡単に作成できます。

!!注意!!

- 「テプラ」PRO本体の取扱説明書では、作成したラベルのデータを「ファイル」と呼んでいますが、本書ではパソコンのファイルと区別するため、「データ」と呼んでいます。
- パソコンに接続できない「テプラ」PRO本体は「DATAメモリーシステム SDM9」を利用できません。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、パソコンに「テプラ」PRO本体を複数接続した状態では通信できません。パソコンに接続する「テプラ」PRO本体は1台にしてご使用ください。
- 複数の「テプラ」PROで利用する場合、同じ機種ではデータの共用ができますが、異なる機種間では共用できない、あるいはデータが使えないことがあります。
- 「DATAメモリーシステム SDM9」は、共有設定されたネットワークプリンタ上の「テプラ」PRO本体には接続できません。

SR5900P、SR3900P、SR3700P、SR3500Pをお使いの方へ：
上記「テプラ」PRO本体では「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1を利用できません。

SR930、SR920、SR720、SR520、SR520Xをお使いの方へ：
上記「テプラ」PRO本体では「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1を利用できません。「DATAメモリーシステム SDM9」（Ver.3.6）をご使用ください。

SR900、SR910、SR710、SR610X、SR510をお使いの方へ：
上記「テプラ」PRO本体では「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1を利用できません。「DATAメモリーシステム SDM9」（Ver.1.0、Ver.2.0～2.3）をご使用ください。

SR6700Dをお使いの方へ：
上記「テプラ」PRO本体では「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1を利用できません。「DATAメモリーシステム SDD6」をご使用ください。

パソコンにインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いのパソコンが以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできるパソコンの条件

対応OS	日本語 Windows 8.1/8/7/Vista/XP （32bit版、64bit版に対応） ※ 各OSの推奨環境以上でお使いください ※ Windowsをアップグレードしたパソコンでは正しく動作しないことがあります ※ Windows Vista Enterprise は動作対象外です
対応PC	PC/AT互換機 対応OSが正常に動作するパーソナルコンピュータ
ハードディスク占有容量	約10MB
ディスプレイ	解像度1024×768（XGA）/High Color以上
インターフェイス	USB接続

!! 注意 !!

- 対応OS以外のWindows 2000/Me/98SE/98/NTでの動作は保証しません。
- お使いのパソコン環境によっては、正しく動作しない場合があります。
- 他のOSのエミュレート環境での動作は保証できません。
- バージョンの古いソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールをおこなったあとに新しいソフトウェアをインストールしてください。
- パソコンへのインストールは、必ずAdministrator権限で実行してください。Administrator権限でおこなわない場合、インストールに失敗し、ソフトウェアが正しく動作しません。
- 本ソフトウェアの対応機種につきましては、Readme、当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）などをご確認ください。
- ウイルス対策ソフトの影響により、インストールに失敗することやソフトウェアが正しく動作しない場合があります。お使いのウイルス対策ソフトの説明書などをご確認の上、インストール時にウイルス対策ソフトを停止するなどの対処をしてください。
  また、本ソフトウェアの動作に必要なプログラムが、ウイルスとして誤検出される場合があります。正しく動作しなくなった場合は一旦アンインストールをおこない、再インストールをお試しください。
- 最新バージョン情報は当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）でご確認ください。

アプリケーションをインストールする

以下のソフトをインストールします。

「DATAメモリーシステム SDM9」	「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに転送・保存（バックアップ）する転送ソフトです。

!! 注意 !!

- 「PCラベルソフトSPC10」に付属しているプリンタドライバをインストールしたあとに「DATAメモリーシステムSDM9」をインストールしてください。
- 必ず最新の「PCラベルソフトSPC10」に付属のプリンタドライバとの組み合わせでご使用ください。
- プリンタドライバのインストールについては、「PCラベルソフトSPC10 取扱説明書」をご覧ください。
- 最新のバージョン情報は当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）でご確認ください。
- 本取扱説明書は、転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」のインストールや使いかたについて説明する内容になっており、Windowsやパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windowsやパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はWindowsやパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

❷ 当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）から「DATAメモリーシステムSDM9」ソフトウェアをダウンロードする

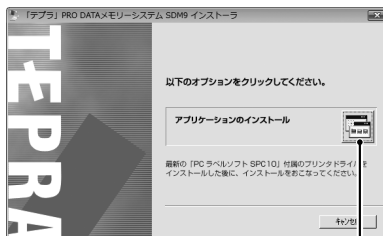
❸ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたSDM9_410フォルダ中のSetUp.exeファイルを実行する

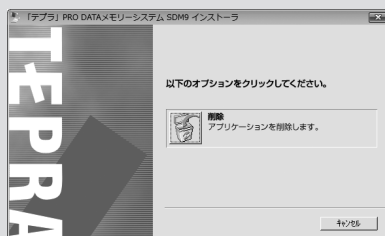
インストールプログラムが起動します。
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

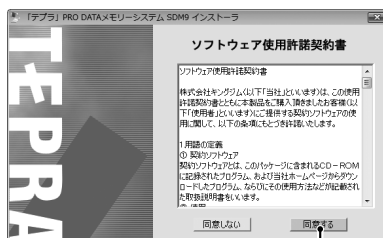
Windows 8.1/8/7/Vistaの場合、［ユーザーアカウント制御］の画面が表示されます。
［続行］または［はい］をクリックし継続してください。

次へ進みます

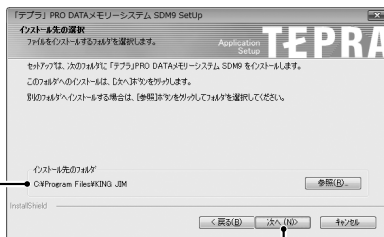
Win・SDM9

❹［アプリケーションのインストール］をクリックする

MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションがインストールされています。
古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。

❺ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は［同意する］をクリックする

同意しない場合は［同意しない］をクリックしてください。インストールは中止されます。

❻ユーザー名と会社名を入力し、[次へ]をクリックする

❼ インストール先を確認し、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は［参照］をクリックすると変更できます。

❽ インストールするプログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックする

❾ 必要な項目をチェックし［完了］をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると、ショートカットの作成を確認する画面が表示されます。

Win・SDM9

アプリケーションをアンインストールする

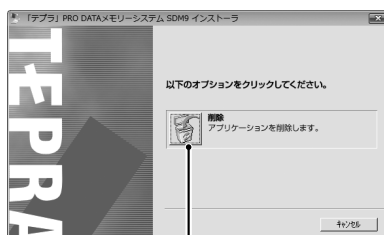
!! 注意 !!

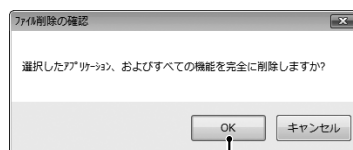
アプリケーションのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。

❶ **インストールの際に当社ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）からダウンロードしたファイルを解凍したあと、表示されたSDM9_410フォルダ中のSetUp.exeファイルを実行する**

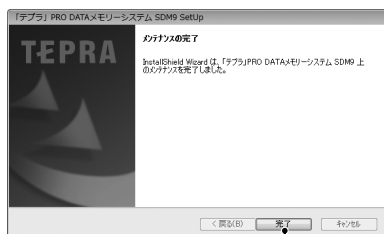
インストールプログラムが起動します。

❷ **［削除］をクリックする**

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。

❸ **［OK］をクリックする**

アンインストールが開始されます。

MEMO

ここで［キャンセル］をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

❹ **［完了］をクリックする**

転送ソフトの起動～終了

起動する

❶ パソコンと「テプラ」PRO本体を接続し、電源ボタン、次に［パソコンリンク］または［PCリンク］ボタンを押してパソコンリンク状態にする

「テプラ」PROのディスプレイに「パソコン通信可能」または「PC通信可能」が点滅します。

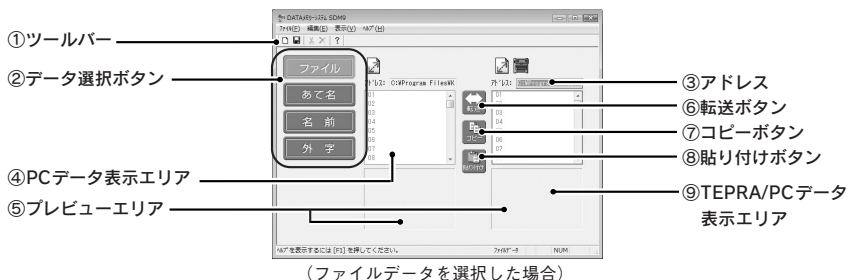
❷ 転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を起動する

デスクトップの［DATAメモリーシステムSDM9］アイコンをダブルクリックします。

MEMO

- 起動するには、あらかじめ「DATAメモリーシステムSDM9」と接続する「テプラ」PRO本体のプリンタドライバをインストールしておく必要があります。
- デスクトップにアイコンがない場合は、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］ー［TEPRA PRO］ー［DATAメモリーシステムSDM9］ー［DATAメモリーシステムSDM9］をクリックして起動します。（Windows 8.1は、［スタート］画面の左下にマウスカーソルを移動し、表示された矢印をクリックし、［アプリ］画面を表示します。［アプリ］画面を右にスクロールし、［DATAメモリーシステムSDM9］をクリックして起動します。Windows 8は、［スタート］画面に作成された［DATAメモリーシステムSDM9］タイルをクリックして起動します。）

❸ データ選択ボタンから転送するデータをクリックする

選択したボタンに応じてデータ転送画面が変わります。

（ファイルデータを選択した場合）

①ツールバー　：新規作成、上書き保存、切り取り、削除など、データを操作するボタンです。

②データ選択ボタン　：表示するデータを選択します。

③アドレス　：データの保存場所を表示します。

④PCデータ表示エリア　：パソコンに保存されているファイル（D9B形式）のデータが一覧で表示されます。選択されているときは赤い枠が表示されます。

⑤プレビューエリア　：選択されているデータの内容（一部）を表示します。

⑥ 転送 **転送ボタン**　：選択されているデータを、転送先の同じデータ番号に転送します。

⑦ コピー **コピーボタン**　：選択されているデータをクリップボードにコピーします。

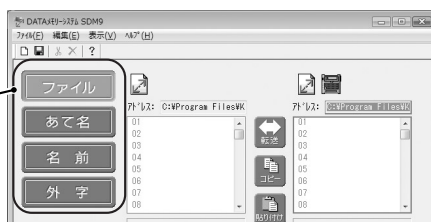
⑧ 貼り付け **貼り付けボタン**　：クリップボードにコピーされたデータを好きなデータ番号に貼り付けることができます。

⑨TEPRA/PCデータ表示エリア　：接続している「テプラ」PRO本体またはパソコンのデータが一覧で表示されます。選択されているときは赤い枠が表示されます。

「テプラ」PRO本体のデータを表示する

「テプラ」PRO本体のファイルを読み込むときは、（「テプラ」PRO本体ファイル読み込み）をクリックします。

❶ データ選択ボタンをクリックする

表示したいデータを選択します。

❷ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアをクリックして、（「テプラ」PRO本体ファイル読み込み）をクリックする

選択した表示エリアに赤い枠が表示され、「テプラ」PRO本体のデータ番号とファイル名またはデータの一部が一覧で表示されます。

MEMO

- 「テプラ」PRO本体と通信をおこなうときは、「テプラ」PRO本体とパソコンがUSBケーブルで接続されていること、「テプラ」PRO本体のディスプレイに「パソコン通信可能」または「PC通信可能」が点滅していることを確認してください。
- 「テプラ」PRO本体と通信中のとき、パソコン画面上に「「テプラ」PRO本体と通信中です。しばらくお待ちください」と表示されます。
- 通信中は、他のアプリケーションを動作・起動させないでください。
- 手順❷でファイル読み込みを実行すると、手順❶で選択したデータのみ「テプラ」PRO本体から読み込まれます。他のデータを読み込みたい場合は、手順❶から操作しなおしてください。

!! 注意 !!

パソコンに「テプラ」PRO本体を複数台接続した状態では通信をおこなうことはできません。通信をおこなう「テプラ」PRO本体1台のみ接続してください。また、共有設定されたネットワークプリンタ上の「テプラ」PRO本体には接続できません。

❸ データをクリックする

プレビューエリアに選択しているデータの内容が表示されます。

MEMO

- データが保存されている番号には「＊」がつきます。
- 記号や特殊文字は「■」で表示されます。また、文字モード指定マークは表示されません。
- プレビューエリアに表示しきれない内容は省略されます。

パソコンのデータを表示する

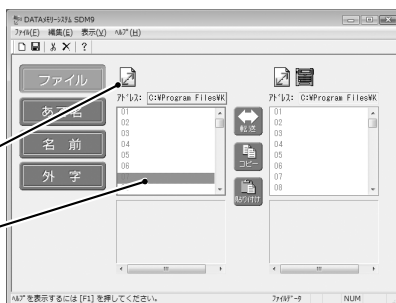
すでに作成したSDM9ファイル(D9B形式)を開くときは (PCファイル読み込み)を、新しいSDM9ファイルを作成するときは (新規作成)をクリックします。

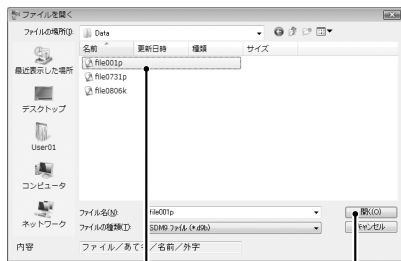
SDM9ファイル(D9B形式)を開く

❶ データ選択ボタンをクリックする

表示したいデータを選択します。

❷ 表示させたい表示エリアをクリックして、 (PCファイル読み込み)をクリックする

選択した表示エリアには赤い枠が表示されます。
そのあと、［開く］画面が表示されます。

❸ ファイルを指定して［開く］をクリックする

［開く］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▼ や などをクリックして、保存場所を表示させます。ファイルが開くと、表示エリアにデータ番号とファイル名またはデータの一部が一覧で表示されます。

MEMO

- 「DATAメモリーシステム SDM9」Ver.4.1では、「SDM9ファイル（D9B形式）」以外のファイルは開けません。
- ［開く］画面でファイルを選択すると、画面下部に「内容」が表示され、保存されているデータ（ファイル、あて名、名前、外字）を確認することができます。
- ファイルを指定して［開く］をクリックすると、SDM9ファイルにあるすべてのデータ（ファイル、あて名、名前、外字）を開きます。開いたあとに、データ選択ボタンをクリックすると、それぞれのデータが一覧で表示されます。

❹ データをクリックする

プレビューエリアに選択しているデータの内容が表示されます。

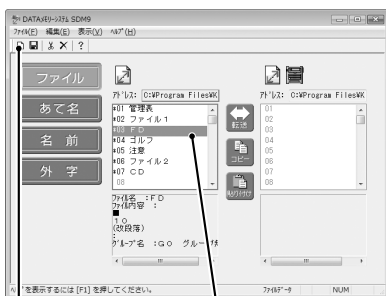
MEMO

- データが保存されている番号には「＊」がつきます。
- 記号や特殊文字は「■」で表示されます。また、文字モード指定マークは表示されません。
- 定型外国語は表示されません。
- プレビューエリアに表示しきれない内容は省略されます。

新しいSDM9ファイルを作成する

作業しているファイルを終了し、新しいSDM9ファイルを作成するときは（新規作成）をクリックします。

❶ 表示させたい表示エリアをクリックして、（新規作成）をクリックする

新しいSDM9ファイルが表示されます。

❷ データ選択ボタンをクリックする

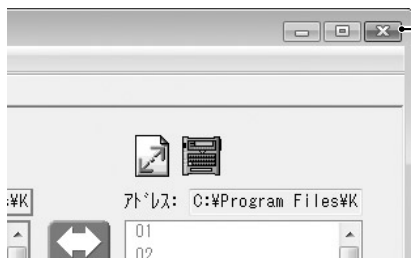
表示したいデータを選択します。

MEMO

- 作業しているファイルを終了し、新しいSDM9ファイルを作成したとき、更新確認のメッセージが表示されることがあります。
- 転送ソフト起動直後に新しいSDM9ファイルを作成するときは、この操作は必要ありません（すでに新しいSDM9ファイルが開かれた状態になっています）。

終了する

❶ 画面右上のをクリックする

そのままウィンドウが閉じます。

MEMO

SDM9の終了は、［ファイル］－［終了］を選択しても実行できます。

Win・SDM9

データを転送する

「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに転送する

ここでは、ファイルデータを転送する画面を例に説明していますが、あて名データ、名前データ、外字データも基本的に同じ操作となります。

❶ データ選択ボタンをクリックする

転送したいデータを選択します。

①クリック

❷ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアに、転送元となる「テプラ」PRO本体のデータを表示させる

参照 ☞ P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」

MEMO

右側のTEPRA/PCデータ表示エリアにもSDM9ファイル（D9B形式）を開くことができます。左右の表示エリアに別々のSDM9ファイルを開けば、SDM9ファイル間でデータを転送することができます。

❸ 左側のPCデータ表示エリアに、転送先となるファイルを開く

参照 ☞ P.11「パソコンのデータを表示する」

❹ 転送したいデータをクリックして選択する

プレビューエリアに選択しているデータの内容が表示されます。

MEMO

複数のデータを選択するときは、キーボードの＜Ctrl＞を押しながら1行ずつクリックします。
また、最初の候補をクリックして選択したあと、最後の候補を＜Shift＞を押しながらクリックすると最初～最後の候補までのすべての行を選択できます。
［編集］－［全てを選択］を選択するか、＜Ctrl＞を押しながら＜A＞を押すと、全データを選択できます。

5 (転送)をクリックする

転送確認のメッセージが表示されます。

MEMO

すべてのデータを転送するときは、メニューバーの［編集］ー［全転送］をクリックすると、一度に転送できるので便利です。

6 転送方向を確認し、［はい］をクリックする

転送元と同じ番号にデータが転送されます。
転送先にデータがある場合は、上書き確認のメッセージが表示され、［はい］をクリックすると上書きされます。

7 左側のPCデータ表示エリアをクリックして (上書き保存)をクリックする

現在のファイル名で上書き保存されます。
別名で保存するときは［ファイル］ー［名前を付けて保存］を選択し、保存画面でファイル名を入力します。

② クリック
① クリック

MEMO

- データを転送しても転送元のデータは残ります。
- 名前データは上書き転送できません。転送先のデータを削除してから転送するか、空いている番号にコピーしてください。
- SDM9ファイル(D9B形式)は、1つのファイルで4つのデータ(ファイル、あて名、名前、外字)を管理できます。
- データ表示エリアに表示された「外字データ」は、パソコン上で編集することができます。
  参照 P.28「外字の編集」
- データを異なる番号へ転送したい場合は「コピー・貼り付け」機能を利用してください。
  参照 P.18「データをコピーする・移動する」
- SDM9ファイル(D9B形式)に保存できる最大データ数は、ファイル100件、あて名100件、名前40件、外字20件です。ただし、機種により転送できるデータ数は異なります。お使いの機種の取扱説明書で確認してください。
- 登録したデータが多いと転送に時間がかかることがあります。

パソコンにあるデータを「テプラ」PRO本体に転送する

❶ データ選択ボタンをクリックする

転送したいデータを選択します。

❷ 左側のPCデータ表示エリアに、転送元となるファイルを開く

参照☞P.11「パソコンのデータを表示する」

MEMO

右側のTEPRA/PCデータ表示エリアにもSDM9ファイル（D9B形式）を開くことができます。左右の表示エリアに別々のSDM9ファイルを開けば、SDM9ファイル間でデータを転送することができます。

❸ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアに、転送先となる「テプラ」PRO本体のデータを表示させる

参照☞P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」

❹ 転送したいデータをクリックして選択する

プレビューエリアに選択しているデータの内容が表示されます。

MEMO

複数のデータを選択するときは、キーボードの＜Ctrl＞を押しながら1行ずつクリックします。
また、最初の候補をクリックして選択したあと、最後の候補を＜Shift＞を押しながらクリックすると最初～最後の候補までのすべての行を選択できます。
[編集] ー [全てを選択] を選択するか、＜Ctrl＞を押しながら＜A＞を押すと、全データを選択できます。

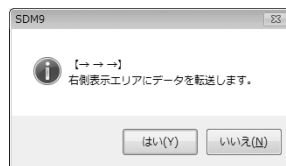
5 （転送）をクリックする

転送確認のメッセージが表示されます。

MEMO

すべてのデータを転送するときは、メニューバーの[編集]－[全転送]をクリックすると、一度に転送できるので便利です。

6 転送方向を確認し、[はい] をクリックする

転送元と同じ番号にデータが転送されます。
転送先にデータがある場合は、上書き確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると上書きされます。

MEMO

- データを転送しても転送元のデータは残ります。
- 「テプラ」PRO本体で作成した文章内に外字を使用したとき、その外字データをSDM9ファイルに転送し、移動や変更・削除などをおこなうと、「テプラ」PRO本体に転送しなおしたとき、その文章の外字が空白や異なる外字で表示されます。
- データを異なる番号へ転送したい場合は「コピー・貼り付け」機能を利用してください。
参照 ☞P.18「データをコピーする・移動する」

!! 注意 !!

- 「テプラ」PRO本体へデータを転送する場合は、転送した時点で「テプラ」PRO本体のファイルに書き込まれます。上書き実行後は、元データの復元はできませんので、充分に確認してください。
- 名前データは上書き転送できません。転送先のデータを削除してから転送するか、空いている番号にコピーしてください。
- 「テプラ」PRO本体にデータを転送するとき、データ量によって時間がかかる場合があります。
- SDM9ファイル（D9B形式）に保存できる最大データ数は、ファイル100件、あて名100件、名前40件、外字20件です。
- SDM9ファイル（D9B形式）に保存されている各データが「テプラ」PRO本体で登録できるデータ数より多い場合、「テプラ」PRO本体で登録できるデータ数を越えている部分はカットされます。

データをコピーする・移動する

データを異なる番号へ転送したい場合は、「コピー・貼り付け」機能や「切り取り・貼り付け」機能を利用します。
ここでは、ファイルデータでの操作を例に説明していますが、あて名データ、名前データ、外字データも基本的に同じ操作となります。

コピーする

❶ データ選択ボタンをクリックする
転送したいデータを選択します。

❷ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアに、コピー元となる「テプラ」PRO本体のデータを表示させる
参照☞P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」

MEMO
右側のTEPRA/PCデータ表示エリアにもSDM9ファイル(D9B形式)を開くことができます。左右の表示エリアに別々のSDM9ファイルを開けば、SDM9ファイル間でデータを転送することができます。

❸ 左側のPCデータ表示エリアに、コピー先となるファイルを開く
参照☞P.11「パソコンのデータを表示する」

❹ コピーしたいデータをクリックして選択する
プレビューエリアに選択しているデータの内容が表示されます。

MEMO
複数のデータを選択するときは、キーボードの<Ctrl>を押しながら1行ずつクリックします。
また、最初の候補をクリックして選択したあと、最後の候補を<Shift>を押しながらクリックすると最初～最後の候補までのすべての行を選択できます。
[編集]ー[全てを選択]を選択するか、<Ctrl>を押しながら<A>を押すと、全データを選択できます。

❺ **(コピー)をクリックする**

❹で選択したデータがクリップボードにコピーされます。

❻ **コピー先のデータ番号を選択し、(貼り付け)をクリックする**

貼り付け確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると、選択したデータ番号にコピーした内容が上書きされます。
コピー先にデータがある場合は、上書き確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると上書きされます。

MEMO

- 複数のデータをコピーしたときは、選択したコピー先データ番号を先頭に、連続して貼り付きます。コピー元を飛び飛びに選択した場合は、間隔をつめて連続で貼り付きます。
- 名前データは上書きできません。空いている番号にコピーしてください。

❼ **コピー先のファイルを保存する**

(上書き保存)をクリックすると、現在のファイル名で上書き保存されます。
別名で保存するときは［ファイル］－［名前を付けて保存］を選択し、保存画面でファイル名を入力します。

!! 注意 !!

「テプラ」PRO本体にデータをコピーする場合は、コピーした時点で「テプラ」PRO本体のファイルに書き込まれます。上書き実行後は、元データの復元はできませんので、充分に確認してください。

移動する

❶ 移動したいデータをクリックして選択する

「コピーする」の手順❶～❹の操作で移動したいデータを選択します。

参照☞P.18「コピーする」

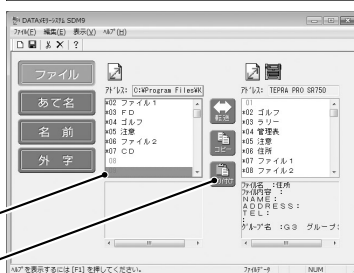
MEMO

複数のデータを選択するときは、キーボードの＜Ctrl＞を押しながら1行ずつクリックします。
また、最初の候補をクリックして選択したあと、最後の候補を＜Shift＞を押しながらクリックすると最初～最後の候補までのすべての行を選択できます。
［編集］－［全てを選択］を選択するか、＜Ctrl＞を押しながら＜A＞を押すと、全データを選択できます。

❷ (切り取り)をクリックする

❶で選択したデータがクリップボードにコピーされます。

❸ 移動先のデータ番号を選択し、(貼り付け)をクリックする

貼り付け確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると、選択したデータ番号にコピーした内容が貼り付きます。移動元のデータは削除されます。
移動先にデータがある場合は、上書き確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると上書きされます。

MEMO

複数のデータを移動したときは、選択した移動先データ番号を先頭に、連続して貼り付きます。
移動元を飛び飛びに選択した場合は、間隔をつめて連続で貼り付きます。

❹ 移動先のファイルを保存する

(上書き保存)をクリックすると、現在のファイル名で上書き保存されます。別名で保存するときは［ファイル］－［名前を付けて保存］を選択し、保存画面でファイル名を入力します。

!! 注意 !!

「テプラ」PRO本体にデータを移動する場合は、移動した時点で「テプラ」PRO本体のファイルに書き込まれます。上書き実行後は、元データの復元はできませんので、充分に確認してください。

削除する

❶ 削除したいデータをクリックして選択する

① クリック

MEMO

複数のデータを選択するときは、キーボードの＜Ctrl＞を押しながら1行ずつクリックします。
また、最初の候補をクリックして選択したあと、最後の候補を＜Shift＞を押しながらクリックすると最初〜最後の候補までのすべての行を選択できます。
［編集］ー［全てを選択］を選択するか、＜Ctrl＞を押しながら＜A＞を押すと、全データを選択できます。

❷ ✕（削除）をクリックする

削除確認のメッセージが表示されます。

① クリック

MEMO

キーボードの＜Delete＞を押しても削除できます。

❸ ［はい］をクリックする

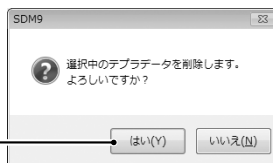
データが削除されます。

① クリック

❹ ファイルを保存する

（上書き保存）をクリックすると、現在のファイル名で上書き保存されます。
別名で保存するときは［ファイル］ー［名前を付けて保存］を選択し、保存画面でファイル名を入力します。

!! 注意 !!

- データ表示エリアに読み込んだ「テプラ」PRO本体のデータを削除する場合、削除実行後は元データの復元はできませんので、充分に確認してください。
- データ表示エリアに読み込んだ「テプラ」PRO本体のデータを削除するとき、データ量によって時間がかかる場合があります。

あて名・名前データをパソコンとやりとりする

「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などで作成したあて名や名前用のファイルを「テプラ」PRO本体で利用できるように、変換することができます。
また、「テプラ」PRO本体で作成したあて名や名前データを「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」などに変換することもできます。

パソコンであて名・名前用ファイルを作成するときの注意

あて名や名前用のファイルを「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」で作成する場合は、「テプラ」PRO本体のあて名や名前の登録項目と同じ順序、同じ制限文字数で作成する必要があります。

パソコンであて名用ファイルを作成する

パソコンであて名用ファイルを作成する場合、以下の項目を入力します。

（列番号）	A	B	C	D	E	F	G
項目	郵便番号	住所1	住所2	会社	部署	氏名	カスタマバーコード
文字数の制限	8文字	20文字	20文字	20文字	20文字	20文字	20文字

実際に作成する場合は以下の通りになります。

● 「XLS形式」、「XLSX形式」で作成する場合

2行目からデータを入力します　　1行目にタイトルを入力する必要があります

● 「CSV形式」で作成する場合

1行目からデータを入力します

パソコンで名前用ファイルを作成する

パソコンで名前用ファイルを作成する場合、以下の項目を入力します。

(列番号)	A	B	C	D
項目	氏(漢字)	名(漢字)	氏(読み)	名(読み)
文字数の制限	7文字	7文字	7文字	7文字

実際に作成する場合は以下の通りになります。

●「XLS形式」、「XLSX形式」で作成する場合

2行目からデータを入力します

1行目にタイトルを入力する必要があります

●「CSV形式」で作成する場合

1行目からデータを入力します

!! 注意 !!

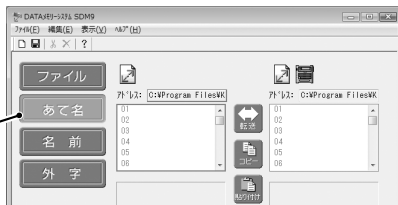
- 利用できるデータは「XLS形式(Excelで作成したデータ)」、「XLSX形式(Excel2007/2010/2013で作成したデータ)」、「CSV形式(カンマ区切りのテキスト)」、「TXT形式」のファイルです。
- 「XLS形式」、「XLSX形式」のデータを読み込むには、各ファイル形式に対応したMicrosoft® Excelがインストールされている必要があります。
- 半角数字は全角数字に変換されます。「テプラ」PRO本体が対応していない記号や漢字の一部は「■」で登録されます。また、あて名・名前データに書体などは反映されません。
- 郵便番号はハイフン(—)を含む数字8文字のデータ以外、正しく読み込まれない場合があります。
- Excelでデータを作成する場合は、以下の点に注意してください。
  - 対応しているExcelのバージョンは、Microsoft® Excel 2002/2003/2007/2010/2013です。
  - 1行目にはタイトル名が必要です。あて名の場合、1行目には「A1～G1」までのセルにタイトル名を入力してください。名前の場合、1行目には「A1～D1」までのセルにタイトル名を入力してください。タイトル名がついていないと、データが入力されていても正しく読み込まれません。
  - データは2行目から認識します。1行目のタイトル名は、列認識のために使用され、あて名データや名前データには読み込まれません。
  - 読み込めるデータは、あて名では列数が7列、行数が最大101行(1行目のタイトル名を含む)、名前では列数が4列、行数が最大41行(1行目のタイトル名を含む)です。
  - シート名、列のタイトルの1文字目にスペースは使用できません。
  - Excelの表示形式で指定した日付や通貨表示等は読み込まれません。
  - 数値データは、桁数が多いと指数表示や異なる値で読み込まれる場合があります。Excelでセルの表示形式を「文字列」として入力したデータをお使いください。
  - Excelドライバの仕様により、特定のコードを列タイトルに含むデータの保存もしくは読み込みでエラーになる場合があります。

Win・SDM9

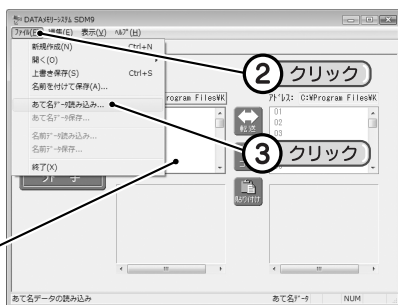
パソコンで作成したあて名・名前用ファイルを「テプラ」PRO本体で利用できる形式に変換する

パソコンで作成したあて名データや名前データをSDM9に表示して、「テプラ」PRO本体で利用できる形式に変換します。
ここでは、あて名データでの操作を例に説明していますが、名前データも基本的に同じ操作となります。

❶ データ選択ボタンをクリックする

［あて名］または［名前］を選択します。

❷ 左側のPCデータ表示エリアをクリックして、［ファイル］－［あて名データ読み込み］をクリックする

［あて名データ読み込み］画面が表示されます。

① クリック
② クリック
③ クリック

MEMO

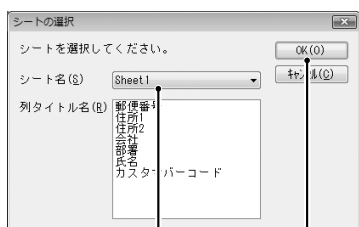
名前データの場合は、ここで［ファイル］－［名前データ読み込み］をクリックします。

❸ ファイルを指定して［開く］をクリックする

［開く］画面にファイルがない場合は、「ファイルの場所」の ▾ や などをクリックして、保存場所を表示させます。
目的のファイルを選択して［開く］をクリックします。
「CSV形式」の場合は、ファイルが開きます（手順❺へ進みます）。
「XLS形式」、「XLSX形式」の場合は、［シートの選択］画面が表示されます（手順❹へ進みます）。

❹ Excelファイルの場合は、シート名を選択し、[OK] をクリックする

「CSV形式」の場合はこの手順は不要です。

ファイルが開くと、PCデータ表示エリアにデータが表示されます。

❺ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアに、転送先となる「テプラ」PRO本体のデータを表示させる

参照 P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」

MEMO

右側のTEPRA/PCデータ表示エリアにもSDM9ファイル(D9B形式)を開くことができます。左右の表示エリアに別々のSDM9ファイルを開けば、SDM9ファイル間でデータを転送することができます。

❻ データを「テプラ」PRO本体に転送する

以降は、データの転送機能やコピー機能を利用して、データをTEPRA/PCデータ表示エリアに転送します。

参照 P.16「パソコンにあるデータを「テプラ」PRO本体に転送する」
参照 P.18「データをコピーする・移動する」

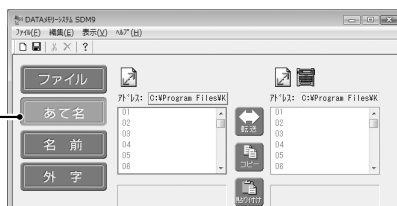
MEMO

- 名前データは上書きできません。空いている番号にコピーしてください。
- パソコンで作成したデータを「テプラ」PRO本体で利用するときは、「テプラ」PRO本体の内蔵書体に指定されます。

「テプラ」PRO本体で作成したあて名・名前データをパソコンで利用できる形式に変換する

SDM9に表示した「テプラ」PRO本体のあて名や名前データを、パソコンで利用できる形式のファイル（「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」）などに変換します。
ここでは、あて名データでの操作を例に説明していますが、名前データも基本的に同じ操作となります。

❶ データ選択ボタンをクリックする

［あて名］または［名前］を選択します。

❷ 右側のTEPRA/PCデータ表示エリアに、転送元となる「テプラ」PRO本体のデータを表示させる

参照 ☞P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」

MEMO

右側のTEPRA/PCデータ表示エリアにもSDM9ファイル（D9B形式）を開くことができます。左右の表示エリアに別々のSDM9ファイルを開けば、SDM9ファイル間でデータを転送することができます。

❸ 左側のPCデータ表示エリアに、転送先となるファイルを開く

参照 ☞P.11「パソコンのデータを表示する」

❹ 変換したいデータを選択し、（転送）（コピー）（貼り付け）などを利用してPCデータ表示エリアに転送する

参照 ☞P.14「「テプラ」PRO本体のデータをパソコンに転送する」
参照 ☞P.18「データをコピーする・移動する」

MEMO

「テプラ」PRO本体のデータをパソコンで利用できる形式に変換するには、一度SDM9ファイル（D9B形式）に変換する必要があります。SDM9ファイル（D9B形式）の場合は、この手順は不要です。

❺ 左側のPCデータ表示エリアをクリックして［ファイル］－［あて名データ保存］をクリックする

［あて名データ保存］画面が表示されます。

MEMO

名前データの場合は、ここで［ファイル］－［名前データ保存］をクリックします。

❻ ファイル名を入力して［保存］をクリックする

「ファイルの種類」でファイルの保存形式を「XLS形式（Excelデータ）」、「XLSX形式（Excel2007/2010/2013データ）」、「CSV形式（カンマ区切りのテキスト）」、「TXT形式」から選択できます。

① ファイル名を入力して

② クリック

!! 注意 !!

「XLS形式」、「XLSX形式」、「CSV形式」、「TXT形式」で保存すると、あて名・名前データのグループ情報は削除されます。

MEMO

- 既存のファイル名を指定した場合、ファイルそのものが上書きされます。
- 「XLS形式」、「XLSX形式」で保存すると、1行目には以下の項目名が表示されます。
  あて名：「郵便番号」、「住所１」、「住所２」、「会社」、「部署」、「氏名」、「カスタマバーコード」
  名前：「氏（漢字）」、「名（漢字）」、「氏（読み）」、「名（読み）」

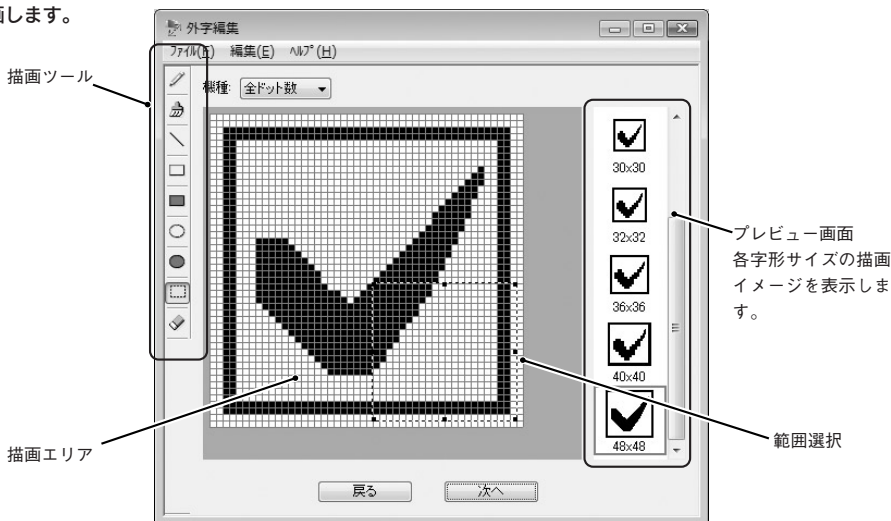
外字の編集

データ表示エリアに読み込んだ「テプラ」PRO本体の外字データを編集するだけでなく、新たに外字を作成して「テプラ」PRO本体に転送することができます。

画面表示と描画方法

外字を編集するときは、1つの外字について、数段階の大きさの字形データを登録します。これは複数の文字サイズを美しく印刷するためです。登録する字形データの数は「テプラ」PRO本体の機種によって異なります。

描画方法

外字の編集は、方眼紙のマス目を点(ドット)で埋める作業です。
画面左側の描画ツールから描画方法を選び、描画エリアのマス目の上でマウスをクリックやドラッグして描画します。

描画ツール

	鉛筆	1ドットずつ描画します。
	ブラシ	太い幅で描画します。
	直線	直線を引きます。
	四角(外枠)	四角の枠を描画します。
	四角(塗りつぶし)	塗りつぶしの四角形を描画します。
	楕円(外枠)	楕円の枠を描画します。
	楕円(塗りつぶし)	塗りつぶしの楕円を描画します。
	範囲選択	描画エリアの一部を選択します。範囲選択後、範囲内をドラッグすると、その部分を移動することができます。
	消しゴム	塗りつぶした部分を消します。

新規に外字データを登録する

❶ データ選択ボタンで［外字］をクリックする

［外字編集］ボタンが表示されます。

❷「テプラ」PRO本体のデータ、またはパソコンのデータを表示する

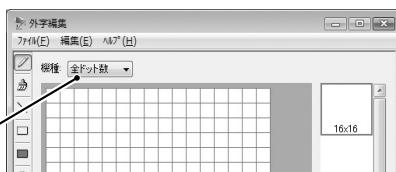
参照☞P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」
参照☞P.11「パソコンのデータを表示する」

❸ 新規に作成する外字のデータ番号を選択し、［外字編集］をクリックする

外字編集画面が表示されます。

❹ 機種を選択する

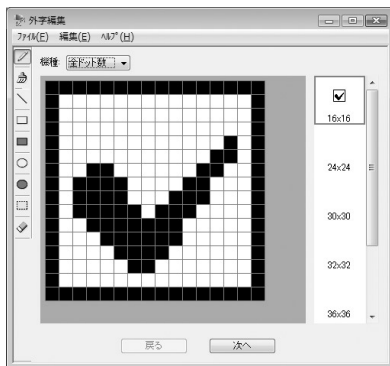
接続している「テプラ」PRO本体、またはご使用になる「テプラ」PRO本体を選択します。

①クリック

次へ進みます

❺ 16×16ドットの字形パターンを編集する

描画ツールから描画方法を選び、描画エリアのマス目の上でマウスをクリックやドラッグして描画します。

❻ ［次へ］をクリックする

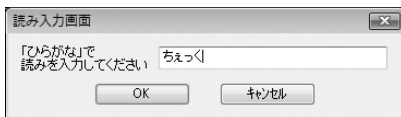
次のサイズの描画エリアが表示されます。
16ドットのデータをもとにパターンが自動的に拡大されます。

❼ 拡大されたデータを補正する

最後の字形サイズを補正して［次へ］をクリックすると、読み入力画面が表示されます。

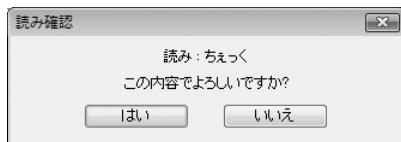
MEMO

機種により、必要となる字形サイズが異なります。複数の機種に転送したい場合は、「全ドット数」を選択してください。

❽ 外字の読みをひらがなで入力し、［OK］をクリックする

読みの確認画面が表示されます。

❾ ［はい］をクリックする

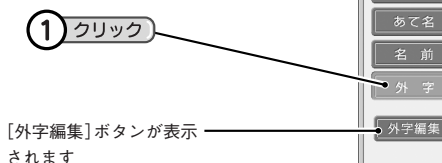
外字の編集を終了し、外字が登録されます。

!! 注意 !!

- データ表示エリアに読み込んだ「テプラ」PRO本体の外字データに直接登録する場合は、登録した時点で「テプラ」PRO本体のファイルに書き込まれます。パソコンにはデータとして保存されていません。
- SR550、SR530には「読み」は転送されません。

❿ 作成した外字をクリックして確認する

外字データを修正する

❶ データ選択ボタンで［外字］をクリックする

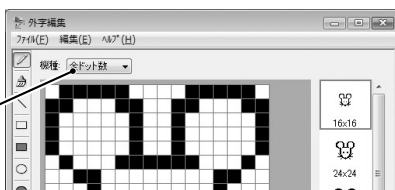
［外字編集］ボタンが表示されます。

❷「テプラ」PRO本体のデータ、またはパソコンのデータを表示する

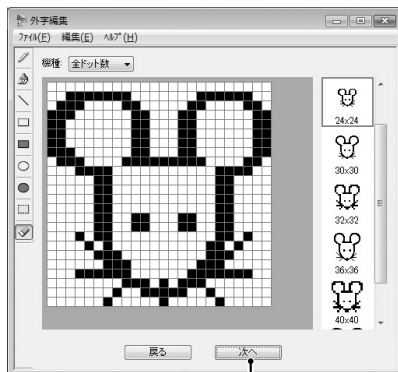
参照☞P.10「「テプラ」PRO本体のデータを表示する」
参照☞P.11「パソコンのデータを表示する」

❸ 新規に作成する外字のデータ番号を選択し、［外字編集］をクリックする

外字編集画面が表示されます。

❹ 機種を選択する

接続している「テプラ」PRO本体、またはご使用になる「テプラ」PRO本体を選択します。

❺ 修正したい字形サイズを選ぶ

修正したい字形サイズが表示されるまで、［次へ］ボタンをクリックします。

❻ 外字のパターンを修正する

描画ツールから描画方法を選び、描画エリアのマス目の上でマウスをクリックやドラッグして描画します。

❼ 他に修正する字形サイズを選ぶ

最後の字形サイズを修正して［次へ］をクリックすると、読み入力画面が表示されます。

MEMO

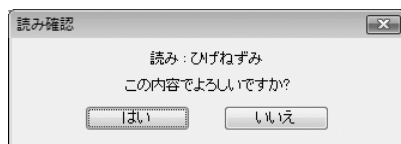
次の字形サイズがすでに登録されている場合は、［次へ］をクリックしても自動的に拡大されません。

❽ 外字の読みをひらがなで入力し、［OK］をクリックする

読みの確認画面が表示されます。

❾ ［はい］をクリックする

外字の修正を反映し、外字が登録されます。

!! 注意 !!

- データ表示エリアに読み込んだ「テプラ」PRO本体の外字データを修正する場合は、登録した時点で「テプラ」PRO本体のファイルに書き込まれます。読み確認画面で［はい］をクリックすると、元データの復元はできませんので、充分に確認してください。
- SR550、SR530には「読み」は転送されません。